

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成5年度研究業務状況

(1) 二部門以上共通

1. 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業 [担当：全員]
2. ラオス文化と沖縄文化の比較のための調査研究 [担当：全員]
 - A 第1回ラオス民族文化調査 平成5年1月19日～2月1日 [担当：加治工真市教授・柳悦州講師・久万田晋講師]
 - B 公開講演会「ラオス民族文化調査中間報告会」沖縄県立芸術大学 平成5年3月20日
 - C ラオス国トムペット・キンサダ博士（言語学）の招聘 平成5年10月3日～10月21日
 - D 公開講演会「ラオスの言語と文化」講演：トムペット・キンサダ博士 沖縄県立芸術大学 平成5年10月16日
 - E 第2回ラオス民族文化調査 平成5年12月22日～平成6年1月7日 [担当：柳悦州講師・久万田晋講師]
3. 柳宗悦研究会 [担当：柳悦州講師・久万田晋講師]
4. 東南アジア文化研究会 [担当：柳悦州講師・久万田晋講師]
5. 『日本民謡大観（沖縄・奄美） 奄美編』の執筆 [担当：波照間永吉助教授・久万田晋講師]
6. 八重山の伝統舞踊の調査 [担当：波照間永吉助教授・久万田晋講師]
7. 『琉球国由来記』研究会 [担当：波照間永吉助教授・久万田晋講師]

(2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究
 - A 南島歌謡語の研究 石垣市四ヶ集落 [担当：波照間永吉助教授]
 - B 沖縄の神歌の調査研究
 - C 西表島古見の伝統文化の調査研究 [担当：加治工真市教授・波照間永吉]

助教授・森田孫栄調査員・大底朝要調査員・新本貞男調査員・新城敏男調査員・大城學調査員]

2. 「沖縄古語辞典」の執筆 [担当：加治工真市教授・波照間永吉助教授]
3. 八重山方言辞典作成のための調査研究 [担当：加治工真市教授]
4. おもろ研究会 [担当：波照間永吉助教授。「おもろ研究会」(仲宗根政善代表)を開催]
5. 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究 [担当：ホルスト・S・ヘンネマン教授]

(3) 伝統工芸部門

1. 沖縄織物の研究 [担当：柳悦州講師]
 - A 沖縄織物画像データベース作成のための基礎研究
 - B 「御絵図」研究
 - C 技法研究
2. ラオスの織物文化研究 [担当：柳悦州講師]
3. 沖縄伝統工芸の研究 [担当：大嶺實清教授・和宇慶朝健助教授]

(4) 伝統芸能部門

1. 沖縄・奄美の民俗音楽調査研究
 - A 国頭村の臼太鼓の調査研究 [担当：金城厚助教授・久万田晋講師]
 - B 座間味村の民俗音楽の調査研究 [担当：久万田晋講師]
 - C 奄美大島の民俗芸能・音楽調査研究 [担当：久万田晋講師]
2. 沖縄古典舞踊の技法研究 [担当：宮城能鳳教授・横道萬里雄客員教授・久万田晋講師]
3. 沖縄奄美民俗音楽関係資料の収集 [担当：金城厚助教授・久万田晋講師]

II 主要研究業績 (平成5年1月～12月)

(1) 主要研究業績

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講

演・放送 7.その他

(2) 助成研究

1. 平成5年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
 - a 研究代表者となっているもの
 - b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学振興財団助成研究
3. その他

(1) 研究所長

加治工真市（兼任教員）

- (1) 1. 『現代日本語方言大辞典』巻4（平山輝男他編）明治書院 平成5年1月25日。
 1. 『 “ ” 』巻5（ “ ” ） “ ” 平成5年5月10日。
 1. 『 “ ” 』巻6（ “ ” ） “ ” 平成5年7月30日。
 1. 『 “ ” 』巻7（ “ ” ） “ ” 平成5年12月20日。
2. 「沖縄文化論－風土と文化－」『祭りのディスクール』（倉智恒夫、前田彰、水之江有編）多賀出版 平成4年度文部省科学研究費補助金（研究成果公開促進費）による刊行。
2. 書評「『琉球方言の古層』（名嘉間三成著）を読んで」『沖縄タイムス』平成5年1月19日。
2. 「受け継がれる沖縄学」『琉球新報』平成5年12月10日。
5. 「ラオス民族調査報告会に寄せて」『沖縄タイムス』平成5年3月18日。
5. 「ラオス調査紀行 言語」『琉球新報』平成5年3月23日。
7. 第1回ラオス民族文化調査 平成5年1月19日～2月1日。

(2) 芸術文化学部門

Horst Siegfried Henneman (ホルスト・S・ヘンネマン、兼任教員)

- (1) 1. Chasho. Geist und Geschichte der Theorien japanischer Teekunst. Veröffentlichungen des Ostasien-Instituts der Ruhr-Universität Bochum 40, Harrassowitz Verlag, Wiesbaden 1994, 440 p.

波照間永吉 (専任教員)

- (1) 2. 「小浜島の結願祭」『沖縄芸術の科学』第6号 平成5年3月31日。
 2. 「オモロにみる美意識と装い」『化粧文化』No.28 平成5年5月。
 2. 「ことば咲い渡り」(共著)『沖縄タイムス』平成4年1月1日～12月31日(約300回掲載のうち、約70回執筆)
 2. 「『復帰20周年沖縄研究国際シンポジウム』をおえて」『大きな和』(沖縄県広報誌)平成5年2月号。
 2. 「カンブンドゥリィをたずねて」『薫風に踊るーニライカナイのかがやきー』(宇根由基子八重山民俗舞踊研究所第9回発表会パンフレット)平成5年5月9日。
 2. 「オモロ人とともに」『DRAMATIC 執心鐘入パンフレット』平成5年8月28日。
 2. 「沖縄文化協会創設45周年記念研究発表会へのおさそい」『沖縄タイムス』平成5年11月20日。
 4. 「『王府仕置』にみる近世八重山の農民」(第28回沖縄・八重山文化研究会)平成5年6月27日。
 4. 「沖縄祭祀歌謡の形態」(第8回オーストラリア日本学会沖縄部会研究発表。於：シドニー・ニューカッスル大学)平成5年7月9日。
 4. 「沖縄八重山の祭祀歌謡の形態」(共同研究「日本文化の深層と沖縄」第2回研究発表会。於：京都・国際日本文化研究センター)平成5年7月19日。
 6. 「オモロと生活」(琉球放送モーニングサロンー毎週月曜日出演)平成4年1月4日～12月29日。

6. 「先島からのメッセージ」(琉球放送『RBCメディア最前線』スペシャル)平成5年12月17日。

(3) 伝統工芸部門

大嶺實清 (兼任教員)

- (1) 3. 7月 個展 東京赤坂 グリーン・ギャラリー。
 3. 10月 第2回 街と彫刻展 出品。
 3. 11月 街と彫刻展 公開制作(野焼焼成)。
 3. 11月 個展 那覇市 画廊サロンド・ミツ。
 7. 11月 在アメリカ美術館視察(沖縄県美術館基本構想委員会)。
- (2) 2. 研究分担者「琉球伝統芸術の民族学検証(共同研究)」研究代表者:
 大宮真琴・永井信一、「韓国の粉青沙器と琉球の陶器」担当。

和宇慶朝健 (兼任教員)

- (1) 3. 1月 新春絵画20人展「記憶の風景P-93-1」ペーパーワーク ギャラリー小禄。
 3. 2月 第45回沖展「記憶の風景93-F-1」版画 浦添市体育館(会員出品)。
 3. 5月 PRINT WORKS 13「記憶の風景93-F-2」他2点 版画 画廊沖縄。
 3. 9月 県展「記憶の風景93-F-6」版画 宜野湾市民体育館(審査員無監査出品)。
 3. 9月 「平和の礎」デザインコンペ大賞受賞 環境デザイン 沖縄県。
 3. 10月 第2回街と彫刻展「三つのしあわせの門」立体造形 街と彫刻展実行委員会。
 3. 10月 第2回街と彫刻展ポスターデザイン グラフィックデザイン 街と彫刻展実行委員会。
 3. 11月 壁画デザイン「のびのびと、すこやかに」壁画デザイン 安富祖小学校。

3. 12月 具志川市民芸術劇場緞帳デザイン指名コンペ最優秀「黎明・具志川」緞帳デザイン。

柳 悦州（専任教員）

- (1) 2. 「「御用布繪形之見本」と「御絵図」における絣の分類と比較」『沖繩芸術の科学』第6号 平成5年3月31日。
3. 4月 第67回国展「MD-93.01」飾布 東京都立美術館。
4. 「Characteristics of Okinawan Kasuri Textiles」第7回太平洋学術中間会議（民族芸術学）平成5年6月29日。
5. 「ラオス調査紀行 織物」『琉球新報』平成5年3月19日。
7. 第1回ラオス民族文化調査 平成5年1月19日～2月1日。
7. 第2回ラオス民族文化調査 平成5年12月22日～平成6年1月7日。
- (2) 2. 研究分担者「琉球王朝時代における『御絵図』」研究代表者：祝嶺恭子。
2. 研究分担者「琉球伝統芸術の民族学検証（共同研究）」研究代表者：大宮真琴・永井信一、「沖繩絣織物の特徴」担当。

(4) 伝統芸能部門

宮城能鳳（兼任教員）

- (1) 3. 1月 組踊と沖繩芝居発刊記念公演「くみうどり思い二題」出演「執心鐘入」宿の女、鬼女役。
3. 2月 国指定重要無形文化財組踊伝承者研修発表会において「銘苺子」の指導。
3. 3月 箏曲地謡による組踊と舞・組踊地謡研修部第11回研修発表会出演 「執心鐘入」宿の女、鬼女役。
3. 3月 国指定重要無形文化財組踊指定20周年記念公演出演 「執心鐘入」若松役。
3. 3月 第4回県民劇場企画“陽春の舞 男性舞踊家の競演”出演「高平良萬歳」、「金細工」を踊る。

3. 4月 岡山県立美術館開館5周年記念琉球舞踊公演参加 「高平良萬歳」、「加那よう天川」を踊る。
3. 4月 NHK福岡放送センターオープニング記念「琉球王朝文化の至芸 琉球舞踊名流展」出演 「かぎやで風」、「高平良萬歳」、「加那よう天川」を踊る。
3. 5月 埼玉県深谷市において宮城流鳳乃会「組踊と舞踊」公演 組踊「執心鐘入」、舞踊「花風」、「鳩間節」を踊る。
3. 6月 宮城流鳳乃会「出立ち公演」開催 組踊「萬歳敵討」、舞踊「旅路」、「鳩間節」、「馬山川」を踊る。
3. 7月 太平洋学術中間会議「芸能鑑賞会」出演 舞踊「高平良萬歳」、「加那よう天川」を踊る。
3. 9月 野村流音楽協会組踊地謡研修部・舞踊地謡研修部合同研修発表会出演 組踊「高平良萬歳」謝名の子役、「孝行の巻」指導。
3. 9月 野村流古典音楽保存会屋嘉比清研究創作発表会出演 「旅路」、「初春」を踊る。
3. 9月 日米文化交流鳳乃会サンフランシスコ特別公演「琉球の舞」の団長として参加 「花風」、「鳩間節」、「馬山川」を踊る。
3. 10月 沖縄県立芸術大学第4回定期公演出演 組踊「花売の縁」森川の子、薪木取役。
3. 10月 玉城流翠扇会会主金城清一第三回リサイタルに賛助出演 舞踊「金細工」を踊る。
3. 11月 香川芸術フェスティバル'93 交流と創造「南風の祭礼」出演 舞踊「柳」を踊る。
3. 11月 紫の会家元島袋光裕生誕100年記念芸能祭出演 組踊「萬歳敵討」謝名の子役。
3. 11月 沖縄県第17回「沖縄の産業まつり」において組踊「執心鐘入」、「手水の縁」の指導。
3. 11月 野村流音楽協会組踊地謡研修部・舞踊地謡研修部第8回合同発表会において組踊「手水の縁」の指導。

3. 12月 東洋音楽学会第44回大会「舞踊鑑賞会」出演 舞踊「高平良萬歳」を踊る。

金城 厚（兼任教員）

- (1) 2. 「三線音楽の節名における『昔』『本』について」（共著者：岸本吉雄）安富祖琉絃声会記念史編纂委員会編『当流の研究』安富祖琉絃声会 平成5年10月1日。
5. 「伝統譜による音楽データベース構築の展望」大宮誠編『沖縄古典音楽の伝統譜によるデータベースの構築』（平成4年度科学研究費補助金（一般B）研究成果報告書）沖縄県立芸術大学 平成5年3月30日。
5. 「表計算ソフト Lotus 1-2-3による工工四データベースの試み」同上所収。
5. 「ラオス民族調査報告会に寄せて」『沖縄タイムス』平成5年3月20日。
5. 「音楽学の時代と山内盛彬」『山内盛彬著作集 第3巻』沖縄タイムス社 平成5年3月25日。
7. 第1回ラオス民族文化調査 平成5年1月19日～2月1日。
- (2) 1. a 総合研究A「南西諸島の音楽芸能における文化複合の総合的研究」研究代者：金城 厚 交付額 1,400千円。

久万田 晋（専任教員）

- (1) 1. 『日本民謡大観（沖縄・奄美）奄美篇』（共著）日本放送協会 平成5年8月31日。
2. 「奄美諸島の音楽概観」『日本民謡大観（沖縄・奄美）奄美篇』日本放送協会 平成5年8月31日。
2. 「座間味村阿嘉の年中行事ーハマウリ（浜下り）を中心にー」（共著者：寺内直子）『沖縄芸術の科学』第6号 平成5年3月31日。
4. 「奄美民謡旋律のリズム構造」東洋音楽学会沖縄地区第9回定例研究会 平成5年6月19日 沖縄県立芸術大学。

4. 「奄美大島の儀礼歌の系譜」沖縄民俗学会例会 平成5年12月19日 那覇市首里公民館。
 5. 「ラオス調査紀行 音楽」『琉球新報』平成5年3月24日。
 7. 第1回ラオス民族文化調査 平成5年1月19日～2月1日。
 7. 第2回ラオス民族文化調査 平成5年12月22日～平成6年1月7日。
- (2) 1. b 総合研究A「南西諸島の音楽芸能における文化複合の総合的研究」
研究代者：金城 厚 交付額 1,400千円。